



ふれあい通信

2023/6/14 第18号
(一社) 熊本県労働者福祉協議会



県労福協第12回(第57回)通常総会が5月24日(水)無事終了しました。「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう」をメインスローガンに、すべての議案も全会一致で承認いただきました。コロナとの共存を余儀なくされるこれからの社会環境の中で、労働者福祉運動の原点に立ち返り、これまでの運動を学び直しながら、地域に根差した労働者福祉運動を構築していかなければと思います。

「すべての人が手を結び合い、助け合う社会、誰ひとり取り残さない持続可能な社会」
そのような社会が訪れることを本当に願っています。

■通常総会前段で「シンママ熊本応援団」代表者 増淵千保美様にろうふくエール基金の贈呈をさせていただきました。「しあわせBOX」は現在70世帯とのこと。少しずつでも減少して行けばいいのですが・・・シンママ熊本応援団の役員の皆様に心から敬意を表します。

(参考)

Amazon「みんなで応援」プログラムご存じですか。Amazon.co.jpを通じてサポートできるプログラムです。それぞれの支援先が作成した「ほしい物リスト」から商品を購入すると簡単に物資の支援が行える仕組みになっています。是非一度ご覧ください。

[Amazon.co.jp](https://www.amazon.co.jp): [九州・沖縄地方への支援: Amazon「みんなで応援」プログラム](#)

御礼状

私たちは熊本地震直後、生活や将来に不安を抱えるシングルマザーと子どもたちに物資や衣料品の支援、食を通じてシンママたちがつながる「場」づくりをする活動から生まれた団体です。

2017年4月に、「シンママ熊本応援団」として発足しました。シンママ大阪応援団をはじめ、フードバンクさんや子ども食堂さん、福祉施設や企業の方々など、多くの団体や個人の方々からの応援をいただきながら、活動を続けています。

コロナ禍でシングルマザーのくらしは厳しさが増し、月に1度の「しあわせBOX」(米や食料や日用品などを配布する事業)を詰め込む作業をしながら、近況を語り合ったり、相談をしあったりしています。このしあわせBOXは今70世帯ほどに配布しています。このしあわせBOXが届くと、「あ～、だれかとちゃんとながっているんだなあ。」と感じるとみなさん言われます。厳しいくらしの中でも居場所や存在感を感じることは、日々のエネルギーにもなります。

今回の支援金でしあわせBOXのためのお米を購入することができました。ほんとうにありがとうございました。



さて、今月号のひと言コーナーは、**菊池阿蘇地区労福協 田中事務局長**から多忙な中寄稿いただきました。広範囲にわたる地域において、会員の皆さんと労働者福祉運動にご尽力いただいています。

是非ご一読いただき、**菊池阿蘇地区労福協の取り組み**を知っていただき、各々の活動の参考にしていただければと思います。

【1】ひと言コーナー

菊池阿蘇地区労福協事務局長の田中です。

菊池阿蘇地区労福協は、2014年熊本県労福協総会の方針に基づき、菊池郡市労福協と阿蘇地区労福協が協議を重ね、2019年6月に合併し15産別約9千名の地区労福協を設立しています。

合併前はそれぞれの事務局長の単組が事務局を非専従で担当していたものを、連合熊本菊池阿蘇地域協議会を事務局として兼務で行うこととし、活動の活性化を図っています。

新体制（会長含め幹事21名、会計監査2名）での活動を2019年設立当初より精力的に展開できるよう、地区支部を菊池地区支部・阿蘇地区支部に設置し、それぞれで計画を色々検討してきたものの、コロナ禍によりこれまで、弊地区労福協及び地区支部として独自の行事開催には至らず、連合菊阿地協と合同や協賛での行事開催となっております。

今年度の具体的な活動方針については以下となります。

(1) 組織運営を円滑にするため、四役会・幹事会を定期的な開催につとめ充実させる

- (2) 福祉事業団体の利用促進・共助拡大の取り組み
- (3) 労働者福祉運動を担う人材の育成・教育活動の取り組み
- (4) 地域に根差した活動と、組織の持続・発展を連合地域協議会と連携した活動を展開する

また、今までの主な活動（行事）について紹介します。

(1) 学習会

新役員とともに、労働者福祉協議会としての役割や、各事業体の起源や取り組みについて講演会を開催

講演1 労働者福祉運動の始まりと労働者福祉協議会の役割

熊本県労福協 理事長 友田 孝行

講演2 労働金庫のおこりと主な福祉とりくみ

九州ろうきん熊本県推進本部 本部長 上田 淳

講演3 こくみん共済 coop（全労済）のおこりと主な福祉とりくみ

こくみん共済 coop 熊本推進本部 事務局長 猿渡 和大

講演4 ユニオントラベル熊本のおこりと主な福祉とりくみ（10分程度）

ユニオントラベル熊本 専務理事 猪塚 雄二

(2) 秋の収穫祭ファミリーいも掘り

菊池阿蘇地域協議会が主催となるが、例年組合員とその家族含め約 400 名の参加を頂き、それぞれの構成組織での横のつながりや、構成組織間での交流の場となり、大変盛況な行事となっている。



(3) 自然災害遺児救援チャリティーゴルフコンペ

例年 20 組 (80 名) の参加を募集し、スポーツ交流またワーク・ライフ・バランスの取組みとして開催している。



(4) ろうきん菊池支店青年・女性推進委員会主催：協賛行事

例年ろうきん菊池・熊本支店が開催する青年・女性推進委員会主催行事にも協賛を行い、「会員同士の横のつながり強化」と「ろうきんの認知度向上」に取り組んでいる。

写真は 2022 年度の菊池支店開催「ミニモルック大会」



【2】中央労福協活動コーナー

《継続でご案内いたします》

生活・就労応援基金（ろうふくエール基金）について改めてお知らせいたします。身近なところで、コロナ禍で苦しむ方々を支援している団体等に是非ご紹介ください。

基金の目的

基金を呼び水として、地方労福協が軸となり労働組合・協同組合・市民団体等とともに、コロナ禍で苦しむ人たちに対する生活・就労支援活動を地域で促進することを後押しする。この取り組みを通じ、組合員・市民の共感を広げ、労働者福祉運動の役割発揮につなげる。

■就労支援、職業訓練、雇用創出、居住支援などの事業への助成

熊本県労福協が対応できるものは以下の支援Bです。

・支援対象B

コロナ禍に対する生活や就労の支援を目的として、地方労福協が実施もしくは関与する事業や活動。

例えば、各地域で事業団体が行う学生生活支援・フードバンク事業・子ども食堂事業等との連携、民間団体・NPO等が行う困窮家庭等への支援活動との連携など。

- ・「関与する」とは、一緒に活動すること、事業・活動に共感し寄付を集めること、事業・活動を応援、推薦、紹介すること等を含む。
- ・コロナ禍対応に特化した事業・活動だけではなく、就労支援、職業訓練、雇用創出、居住支援などを行うなかでコロナ禍対応を行っている事業・活動も対象となる。

・助成額

1 団体の助成上限額 **支援対象B 20万円**

中央労福協 全国研究集会

(1) 日時 2023年6月9日(金)～10日(土)

(2) 場所 愛媛県松山市 松山市市民会館

(3) テーマとコンセプト

Beyond Generations 新しいつながりに向けたスタートライン 「結果重視からプロセス重視へ」、「集団から個へ」、「画一性から多様性へ」、昭和から平成、令和へと時代が変わりゆく中で、私たち社会を取り巻く「価値観」は大きく変化しました。昨年度静岡では「若者を知る、若者の目線に立って」をキーワードに、若者たちの持つ感性、価値観、考え方や生き方にふれました。今年はこの学びをさらに深掘りして若者への解像度を上げていくとともに、同じ時代を生活している者同士が世代を超えてつながり合い、社会や地域の課題に取り組む実践者たちをゲストに招き、若者を基軸にさらに世代間の連携・協同の可能性について考察することができました。

今の労働者福祉運動、労働運動を担っているゲストからは、「我々の時代は、義理・人情、浪花節の次代、それは今の世代には通用しないどうしたら・・・」と。他のゲストからは、お互い「自己開示」すること、「信頼」すること。

めざすところはいつの時代も変わらないものと思います。

「福祉はひとつ」その思いで労福協運動を推進していきます。

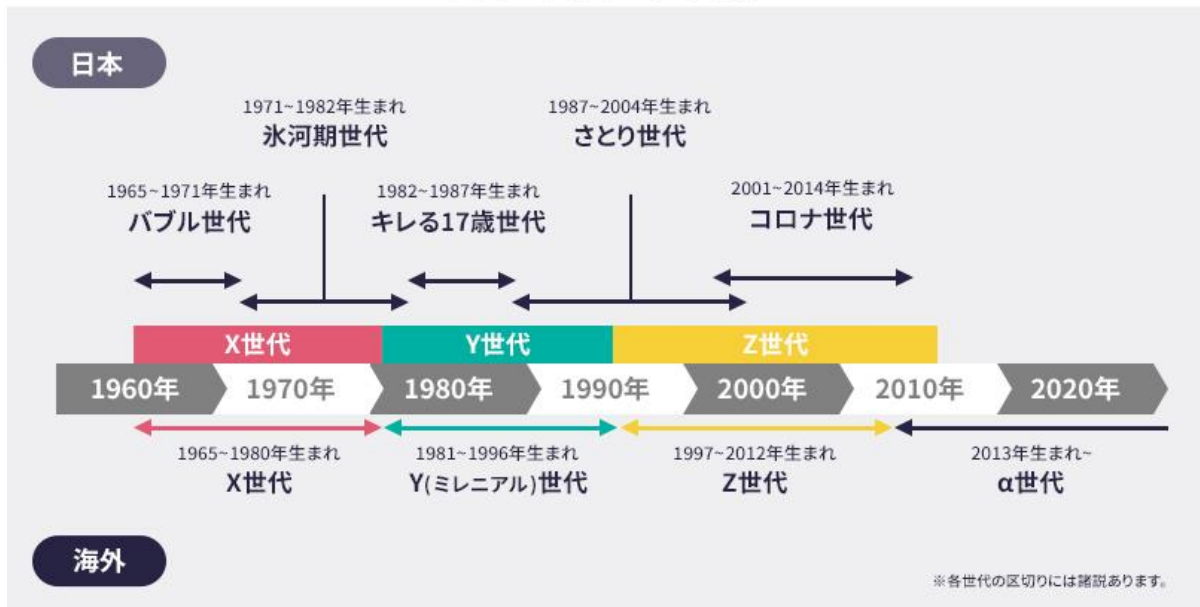
参 考 ……W世代については、記載していません。悪しからず

■Z世代・・・1996年(平成8年)～2015年(平成27年)生まれが対象と言われており、2022年現在で7歳～26歳が“真のデジタルネイティブ”と呼ばれる世代。**みんな違って当たり前という教育を受けた世代**

■Y世代・・・1981年(昭和56年)～1995年(平成7年)生まれの25歳～41歳までを「Y世代」と呼びます。**ゆとり教育の世代**

■X世代・・・1965年(昭和40年)～1980年(昭和55年)の42歳～57歳 X世代は、Z世代の子供を持つ世代。X世代は「しらけ世代」ともよばれ、政治的関心が低い(?)

日本と海外の世代論



出典：オノフHP

■6月10日(土) 日本で一番住みたい田舎「西条市」視察へ

西条市は、標記のとおり「一番住みたい田舎」とのことです。昨年は、お隣の今治市に1位の座を奪われたとのことですが、石鎚山のふもとに位置し、長閑な雰囲気のある町でした。市挙げての移住政策PRにも相当力を注がれ、移住者にも手厚い対応をされているとのこと。これも少子高齢化で25年後市内15校区(現在25校区の小学校)が消滅する可能性があることが判明し、「転出抑制と転入促進」の取組が始まったとの話でした。

また、西条市内には、広範囲に地下水の自噴井があり、これらは「うちぬき」と呼ばれその数は約3,000本あるとのこと。水の都とも言われていて、水質は「軟水」です。熊本はどちらかと言えば「硬水」です。水の都熊本県人として西条の水を飲みましたが、確かに柔らかく感じましたが、おいしさはやはり熊本の水かなと。

ところで、**熊本も是非魅力ある街づくりを・・・と思いつつも、「隣の芝生は青く見える」？ 皆さんも熊本の魅力を見つめ直してみませんか？ 気づかなかったものがあるかもしれません。**

【3】 南部労福協活動コーナー

今後の予定

(1) 「労働運動・労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座」

①開催日時 2023年8月25日(金) 14時30分~26日(土) 12時00分

②開催場所

ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

③開催趣旨

南部労福協は、労働運動・労働者福祉運動が果たしてきた役割を認識・理解し、「福祉はひとつ」という原点に立ち返り、職場・地域でこれら運動を担うべき次代のリーダーの育成に取り組めます。

④開催目的

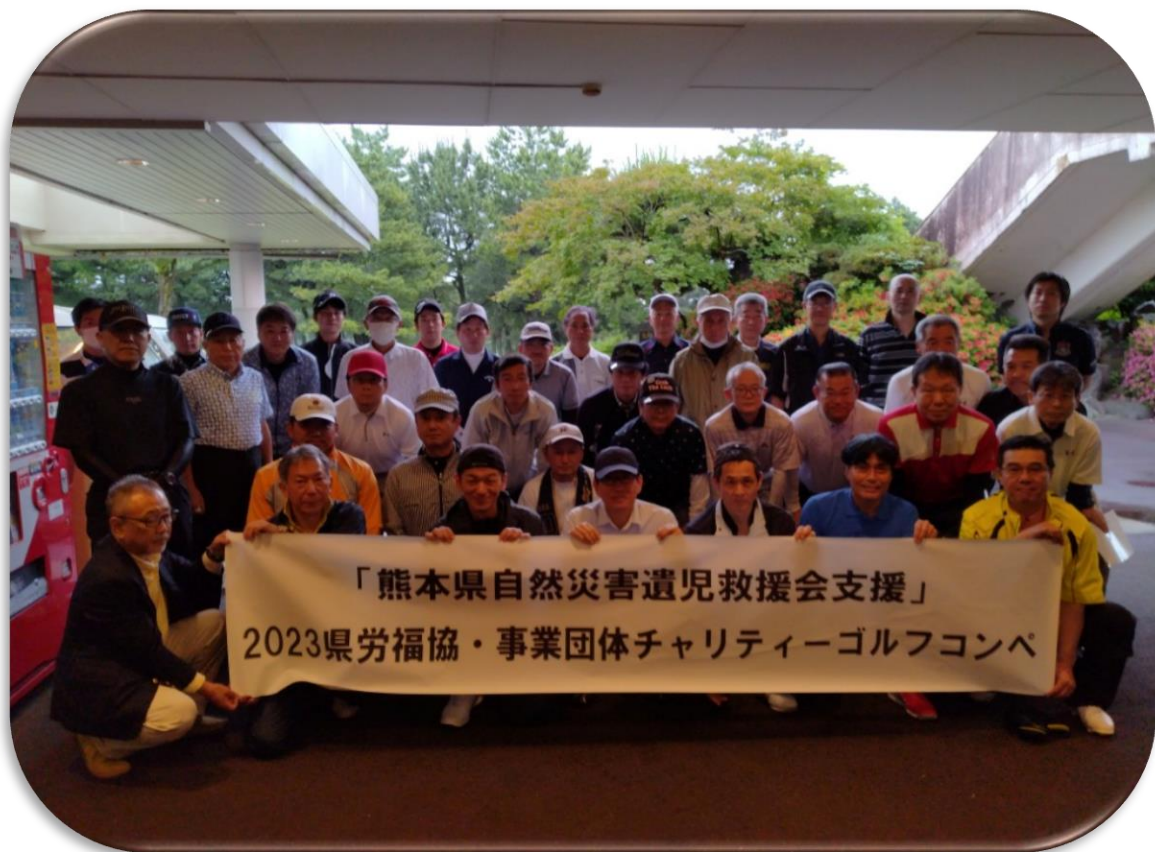
これまでの運動の成果を踏まえ、新しい労働者福祉運動の構築にむけて、労働運動・労働者福祉運動の理念・歴史の伝承者（講師・リーダー）として、リーダーシップを発揮し職場・地域で労働者福祉運動の新たな創造を担うリーダーの育成を図ることを目的とします。

■ 連合熊本・事業団体に対しまして、次代を担う世代の参加要請を行ってまいります。ご協力宜しくお願いいたします。

【4】 県労福協活動コーナー

（1）2023 年熊本県自然災害遺児救援会支援 県労福協・福祉事業団体チャリティゴルフコンペを開催

6月2日、会員相互の親睦と「熊本県自然災害遺児救援会支援」を目的とした2023年度「県労福協・事業団体チャリティゴルフコンペ」を開催しました。雨天の中ではありましたが、各産別・労組OBの方々、総勢122名参加いただき、また、連合熊本、構成組織、事業団体からたくさんの賞品を提供いただきました。大変ありがとうございました。皆様からいただいた参加費「123,000円」は自然災害遺児救援会へ全額寄贈させていただきました。



（2）県労福協 2023 年度～2024 年度役員体制

第12回（第57回）通常総会において、以下のとおり役員体制が承認されました。今後とも県労福協の取り進める労働者福祉運動にご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

2023年度一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会役員体制

役 職 名	役 員 氏 名	所 属
理事長	友 田 孝 行	連 合 熊 本 (電 機 連 合)
副理事長	峯 潔	福 祉 事 業 団 体 (自 治 労)
副理事長	園 田 海 舟	福 祉 事 業 団 体 (電 力 総 連)
副理事長	松 村 勲	連 合 熊 本 (自 動 車 総 連)
専務理事	浦 本 公 也	連 合 熊 本 (国 公 連 合)
理 事	木 村 光 伸	連 合 熊 本 (自 治 労)
	安 本 浩 志 郎	連 合 熊 本 (J P 労 組)
	西 広 継	連 合 熊 本 (U A ゼ ン セ ン)
	小 材 和 博	連 合 熊 本 (電 機 連 合)
	河 野 泰 博	連 合 熊 本 (情 報 労 連)
	園 田 立 児	連 合 熊 本 (電 力 総 連)
	矢 野 良 輔	連 合 熊 本 (交 通 労 連)
	山 野 雄 一 朗	連 合 熊 本 (運 輸 労 連)
	山 本 寛	連 合 熊 本 (情 報 労 連)
監 事	村 枝 哲 弥	連 合 熊 本 (熊 教 組)
	嶋 田 重 信	福 祉 事 業 団 体 (労 働 金 庫)
	徳 富 幸 平	連 合 熊 本 (自 治 労)

【5】雑学（トリビア）コーナー

世界海洋デー（6月8日）

2008年（平成20年）12月の国連総会で制定。翌2009年（平成21年）から実施。国際デーの一つ。英語表記は「World Oceans Day」。1992年（平成4年）6月8日にブラジル・リオデジャネイロで開かれた「地球サミット」においてカナダ代表が提案し、以来「世界海洋デー」として非公式に実施されてきた。その後、**2009年から国連の記念日**となった。**世界の海はつながっているため、国を越えて、みんなで海のことを考えようという日。**

この日には世界100カ国以上において、海の環境について考えるフェスティバルなど海をテーマにしたイベントや取り組みが実施される。

魚を始めとした海洋資源の保護や、産業・生活排水による海洋汚染、二酸化炭素の増加による酸性化、地球温暖化による海水温の上昇や海面水位の上昇など、海を取り巻く問題は多様化している。人類と海は切り離せない関係にあり、海洋問題について注意を促し、私たちの海は私たちが責任を持って守るべきだと呼びかけている。

出典：雑学ネタ帳

【6】福祉事業団体の活動

以下のURLからご覧ください。

- (1) 九州労働金庫熊本県本部

<https://kyusyu-rokin.com>

- (2) こくみん共済coop熊本推進本部

<https://www.zenrosai.coop/contact/zenkoku/kumamoto.html>

- (3) ユニオントラベル熊本

<http://unitora.com/>

- (4) 秋津レークタウンクリニック

<https://akitsu-laketown.jimdofree.com/>

- (5) ライフサポートセンターくまもと

<http://blog.rofuku.net/kumamoto-lsc/>

福祉のことなら何でもご相談ください。あなたの悩みに応えます。事業団体・産別の専門家が、労働問題他、福祉全般に亘って相談に応じます。

- (6) 熊本県労働者福祉会館

<http://www.roukan.org/>

いつでも、だれでも利用できる会議室があります。会議、研修、講習会などのご利用お待ちしております。

【7】事務局からひと言

■今年はラニーニャ現象の影響が残りながら、エルニーニョ現象が発生するとのお気象予報が出されています。東太平洋熱帯域の海面水温が平年より低くなるのがラニーニャ現象、高くなるのがエルニーニョ現象で、世界的な異常気象が発生している目安となっています。

エルニーニョ現象が発生すると、インドネシア付近の西太平洋熱帯域の海面水温は東太平洋熱帯

域とは逆に低下し、積乱雲の活動が不活発となるそうです。この影響で、日本付近の夏季は太平洋高気圧の張り出しが弱くなって、気温が低くなる傾向になります。いわゆる「冷夏」です。

また、熱帯域から太平洋高気圧の周辺をまわるように湿った空気が流れ込み、梅雨末期のような大雨となる可能性もできます。

さらに、夏の台風の発生数は平年より少なくなりますが、台風の発生位置が、平年に比べて南東にずれ、長期間にわたって暖かい海を移動する可能性が高くなり、数は少なくとも発達し日本に接近してくる可能性があります。ラニーニャ現象のときの台風は、発生位置が平常時に比べて北西にずれる傾向があります。何れにしても近年の台風は、温かい海水温の影響から「スーパー台風」として日本に接近上陸しています。梅雨にも台風にも警戒が必要な年となりそうです。

自然災害の発生は防ぐことはできませんが、災害に備えることはできます。「備えあれば憂いなし」日頃から防災意識をもって、速やかに身を守る行動をしましょう。

■「マイナンバーカード」に関する報道があとを絶ちません。来年秋には、「マイナンバーカード」と「保険証」を一体化した「マイナ保険証」に向けた取り組みが加速化しています。余りにも拙速にことを進めるあまり各地で、誤登録の可能性が高いものは748件で、マイナポータルにおいて、本人ではなくあえて家族や同居人・別居家族の口座を登録したと思われるものが、約13万「マイナポータル」で、他人の年金情報が表示、閲覧されるトラブルがあったりしています。それに伴い、制度の強制や保険証の廃止に反対する声も上がったきています。反対する人は、他人の情報が紐づけられるなどカードをめぐる問題が続いていることにも背景にあるようです。中には、マイナンバーカードの取得・管理が難しい人もいます。

私は、前職時代マイナンバーカードが身分証明と入館証と一体となったことから、当初から利用していますが、「これで個人情報すべて国が把握できるじゃない」という話はしていた記憶がありますが、コンビニで各種証明書が取得できるなど、確かに利便性は感じていました。

しかしながらこうもトラブルが発生するということについて、国は再度検証し、国民が納得する説明が必要ではないでしょうか。

〈県労福協からのお知らせ〉

- 「借りてる方も これから借りる方も もう悩まないで奨学金返済 Q&A」中央労福協が標記の冊子を発行しました。返済に困っているあなたへ法律のプロが寄り添って解説している冊子になっています。是非読んでみたいという方は、県労福協にご連絡ください。また、中央労福協 HP からダウンロードできます。サイトがわからない場合も、県労福協にご連絡ください。

いまこそ
労福協の力を

「持続可能な社会をめざして」「誰ひとり取り残さない社会をめざして」そのような
思いでふれあい通信を継続していくことができれば・・・

ご意見、ご要望をお聞かせください。

一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会

〒862-0976

熊本県熊本市中央区九品寺 1 丁目 17-9

TEL 096-375-6029 FAX 096-375-6030

E-mail rofuku@lime.ocn.ne.jp